

和楽器ユニットおとぎメンバー



川村 旭芳-Kyokuho KAWAMURA (筑前琵琶・歌・語り／おとぎ代表)

神戸市出身在住。筑前琵琶日本旭会 総師範 故二代柴田旭堂師のファンだった母の勧めで8歳の頃、師に入門。現在、筑前琵琶日本旭会 師範。

独奏の弾き語りを活動の中心に据えつつ、他分野との共演にも力を注ぐ。古典の琵琶曲を継承しながら、新作の創作にも取り組み、阪神・淡路大震災の追悼曲はじめ、母川村素子の作詞による作品も発表。

1998年～2010年 和楽器オーケストラ 邦楽合奏団「鼎」(KANAE)に所属。関西の楽団や邦楽社中、音楽大学などの国内外に於ける公演に多数出演。NHK FM「邦楽のひととき」ほか出演。日本詩吟学院 兵庫中央岳風会 会員。2011年 CD『源平一ノ谷合戦』および『川村旭芳作品集～母娘合作集～』発売。

◆川村旭芳オフィシャルサイト <http://www.kyokuho-biwagaku.jp/>



木場 大輔-Daisuke KIBA (胡弓／作曲・編曲)

淡路島出身。甲陽音楽学院にて音楽理論とピアノを学ぶ。古典胡弓を原一男師に師事。一方で文楽、風の盆、尾張万歳など日本各地で伝わる胡弓の奏法を研究。胡弓の伝統を尊重しつつも、四絃胡弓の開発など、胡弓の可能性を追求している。

NHK Eテレ「にっぽんの芸能 花鳥風月堂」、NHK FM「邦楽ジョッキー」出演。吉田兄弟全国ツアーや、映画「駆込み女と駆出し男」サントラ参加など、幅広く活動を展開している。

胡弓重奏プロジェクト「弓連者」主宰。「絹擦会」を東京・横浜・大阪にて主宰。

◆木場大輔 Facebook ページ <https://www.facebook.com/kokyukiba/>

◆木場大輔の胡弓のいろは <http://kokyu168.seesaa.net/>



折本 慶太-Keita ORIMOTO (箏・十七絃・二十絃・三絃・尺八)

愛媛県出身、大阪市在住。1993年より尺八を橋本岳人山師に師事。1994年より箏・三絃を新絃社二代家元 狩谷春樹師に師事。1997年 都山流尺八大阪府コンクール1位受賞。2001年 NHK邦楽技能者育成会第46期卒業。同年より現在まで「舞太鼓あすか組」のコンサートツアーに参加。2003年より十七絃箏・二十絃箏を宮越圭子師に師事。2006年 新絃社二代家元 狩谷春樹と、山本春亜(亜美)と共に、「アンサンブル邦」を結成。CD『めぐりあわせ』(2011年)発売。2008年 龍笛・笙とのユニット「トラロ会」を結成。CD『天越ゆる道』(2011年)、『道しるべ』(2014年)発売。尺八・箏・十七絃・二十絃・三絃奏者として、国内外で多数の公演に出演。現在、都山流尺八 師範(折本岳慶山)。新絃社 蒼竜軒(折本大人樹)。大阪国際大学非常勤講師。神戸薬科大学箏曲部顧問。ソルファ音楽院講師。



安田 知博-Tomohiro YASUDA (尺八・篠笛・朗読)

熊本県山鹿市出身、京都市在住。10歳より尺八を始める。21歳で都山流師範となる(蜂山と号する)。さらに、石川利光師に師事し、古典本曲と琴古流を学ぶ。

熊本で開催される「長谷検校記念全国邦楽コンクール」において2003年および2005年 優秀賞を2度受賞。関西および熊本県各地にて自主公演を開催する他、小中学校でのコンサートや和楽器授業にも積極的に取り組んでいる。

ナレーターとしては、盲学校在学中に、全国高校放送コンテストの朗読・アナウンス部門で史上初の3年連続優勝。第70回記念選抜高校野球大会で式典アナウンス。現在、NHK Eテレ「バリバラ」で、副音声のナレーションを担当中。